



マルシェ人 × Interview

vol.13

このコーナーでは、鳩山町コミュニティ・マルシェに関わる人たちをご紹介します。

増田 利正さん

ふくしプラザで「革を使った手作り教室」を開いている増田利正さんにお話を聞きました。

ふくしプラザ
ワーク
ショップ
開催者

誰でも簡単に、楽しく作れるものばかりです



色鮮やかな革の豆靴。果物をモチーフに作られています(写真上)。

12頭揃うと圧巻の干支の動物たち。細かいところまで精密に作られています(写真下)。

「ふくしプラザで「手作り教室」を始めようと思ったきっかけを教えてください」
5年ほど前に、30数年続けてきた職から退き、ただぼうつとする日々を過ごすのもよくないと思い、革で作るミニシューズづくりを始めました。
ありがたいことに、作ったミニシューズを色んな場所に展示していただけて、それを見た人から「私も作ってみたい」とのご要望をいただいたことをきっかけに、「誰でも作れるようになったらいいな」と思い、作り方の研究を始めました。
自分以外の意見も取り入れるため、ふくしプラザに協力してもらい、試行錯誤の末、今の教室にいたります。
「手作り教室」では、どういったものを作れるのでしょうか？

ミニシューズだけではありません。革細工は、バリエーションが豊富で、中でも動物を模した作品は、手軽に作れてとてもかわいいものばかりです。年の暮れには、来る年の干支の作り方を教えたりもしています。
「今後の抱負などを教えてください」
今では町内各所で「手作り教室」を開かせてもらっていますが、嬉しいことに、毎回たくさんの方が参加してくれています。参加される皆さんは、個性が色とりどりで、日々新しい発見の連続で、学ぶことが多いです。
30数年培ってきた自分の技術が、教えることにより、後世に残っていくことはとてもありがたいことです。今後も身体が動く限り、ずっと続けていきたいと思っています。

マルシェトピックス

マルシェで1DAYシェフをしてみませんか？

町コミュニティ・マルシェでは、1DAYシェフを2か月限定で利用料無料のキャンペーンを実施します。ご興味のある方は、ぜひご活用ください。

- 期間 10月1日(火)～11月30日(土)
- 営業時間 午前10時～午後5時まで自由に設定いただけます。

場所・問合せ 鳩山町コミュニティ・マルシェ ☎ 272-7528 (祝日を除く。午前9時～午後5時)

■申込方法 初めの方は、マルシェに来館またはWEBから「運営者参加申請書」をダウンロードしてご記入ください。「提供予定のメニューの写真」「食品衛生責任者の資格を証明するもの」「調理を行う方全員の検便成績書」「食品営業賠償共済または製造物責任保険の加入証明書の写し」を添えて来館またはメールにてお申し込みください。

みんなの伝言板



埼玉クイズ王決定戦 2019

クイズを通して埼玉の魅力を知っていただき、郷土埼玉への関心と愛着度を高めるため、「埼玉クイズ王決定戦 2019」の開催に向け決勝出場者を決める予選会を行います。ふるってご参加ください。
日時：令和2年1月13日(祝・月)午後1時30分から
会場：ウエスタ川越(川越市) 募集期間：12月26日(木)までに埼玉県観光公式サイト「ちよこたび埼玉」にて応募ください。※決勝は、令和2年2月2日(日)にイオンレイクタウン mori 木の広場(越谷市)で開催します。 問合せ：埼玉クイズ王決定戦実行委員会事務局 参加者募集係 ☎ 048-830-3955

第58回平成美術会展

会期：10月28日(月)～11月3日(祝・日) 時間：午前10時～午後5時(28日は午後1時から、3日は午後4時まで) 場所：坂戸市文化会館 展示室 問合せ：林 ☎ 281-2161

埼玉都民大集会～地域でつながろう～

定年後は生活の中心が「会社」から「地域」へ大きくシフトしますが、事前の準備はされていますか？県では、今後の地域への取り組みに悩みを抱えている地域になじみの薄い都内通勤の方々等を対象に、セミナーを開催します。 期日：11月1日(金) ※夕方に開催予定 場所：よみうりホール(入場無料) 定員：1,000人(事前申込制・先着順) 申込：専用のWEBホーム(https://saitamatomin.jp)からお申込ください。 問合せ 埼玉都民大集会事務局 Email: saitamatomin@tsp-taiyo.co.jp

Town Report

異世代ふれあい交流会

囲碁を教わる子どもたち



鳩ヶ丘のびのびプラザを利用する高齢者が講師となって、同じ鳩山小学校の敷地内にある学童保育室銀河鉄道'90に通う子どもたちと交流を深める事業が、8月9日、23日、30日に行われました。

8月9日は、コマ廻し・けん玉、竹とんぼ、料理教室、23日は囲碁教室と料理教室、30日には、習字と自然散策が行われ、参加した子どもたちは高齢者たちと、交流を深めました。

「子ども大学はとやま」 郷土の川について学びました

荒川に生息する生き物についての説明を真剣に聞いていました。



9月7日、子ども大学はとやまが、県立川の博物館にて開講されました。

当日は、23人の子どもたちが参加し、川に入り、水の中にいる生き物を調べて、郷土の川について理解を深めた後、博物館を見学しました。

「手作業の会」と「ぴっぴ」 コラボ企画が開催されました

8月21日と28日、地域包括支援センターと保健センターの共催企画、「クラフトバンドでバスケットを作ろう」が総合福祉センターで行われました。



参加した子育て中のママたちは、「手作業の会」の利用者とボランティアの方たちに教わりながら、とても素敵なバックを完成させました。「手作業の会」の利用者からは「こんなに近くで子どもと触れ合えてうれしい」との声があがっていました。ママたちは「子どもが生まれてから、子どもと離れる時間がまったくなかったが、久しぶりに気分転換ができて楽しかった」と話していました。

鳩中生が金剛峯寺賞を受賞

金剛峯寺賞を受賞した柳澤さん



8月2日、高野山金剛峯寺(和歌山県)で行われた第54回高野山読書大会表彰式において、鳩山中学校3年生の柳澤祐理子さんが金剛峯寺賞を受賞しました。

金剛峯寺賞は、全国で16人(埼玉県から5人)が受賞し、その中のひとりとして表彰を受けました。